

(所属所名)	(推進員氏名)
飯坂農業改良普及所	滝 田 政 次
福島保健所	坂 本 栄
保原保健所	富 田 平 内
県教委伊達出張所	大 橋 恭 也
二本松保健所	金 子 光 雄
郡山保健所	渡 部 春 雄
県教委安積出張所	石 塚 忠 光
〃 岩瀬 〃	会 田 一 二
三春保健所	菅 野 雅 夫
三春農業改良普及所	五十嵐 徳 治
県教委石川出張所	佐 藤 新 治
棚倉保健所	舟 山 二三夫
県教委西白河出張所	根 本 芳之助
〃 南会津 〃	神野藤 忠 吉
高田農業改良普及所	山 田 平 七
金山町〃	辺 見 英 夫
県教委北会津出張所	酒 井 甲 子
〃 耶麻 〃	五十嵐 光 威
喜多方保健所	森 谷 忠 正
磐城 〃	諸 根 英 男
県教委双葉出張所	菊 地 憲 一
原町保健所	豊 田 勝
県協議会(書記)	菅 野 励 子
〃 (〃)	渡 辺 由紀子

3 新生活運動指導者研修会

新生活運動の当面する諸問題を研究協議し、その理念と推進方策を明かにし、優秀な指導者を育成するため福大教授平井博氏および同大助教授堀口知明氏ならびに運動実践者を講師、助言者として下記研修会を開催した。

(月 日)	(場 所)	(参加人員)
37.10.4～6	福島市 青少年の家	関係者 65人
37.10.11～13	猪苗代町 積慶寮	〃 70人
37.10.16～18	相馬市 青年の家	〃 80人

4 新生活運動優良地区の表彰

福島市黒岩地区を中央表彰候補地として推せんし、3月2日東京都において表彰された。黒岩地区代表長沢富蔵氏と県社会教育課小賀坂邦夫が出席した。

5 旅の新生活運動

全国の運動週間に歩調を合せて公衆道徳の高揚を旅行者に呼びかけた。

期間は8月1日～10日まで、12月18日～27日までの2回である。

(1) 実施方法

期間中、東北本線福島駅より白河駅までの列車内で、

ガールスカウトおよびアルバイト学生をして、マイクによる呼びかけと運動の趣旨を記入した時刻表ならびにカレンダーを配布し、また前記の各駅を清掃した。

6 清掃美化運動

ボーイスカウト福島地区協議会、会津地方高等学校生徒によって組織している生活指導協議会に委嘱して、吾妻スカイラインの清掃と国立公園磐梯高原および猪苗代湖畔の清掃を実施した。この清掃は数年来実施しており相当の効果をあげている。実施期間は観光シーズンの8月から11月末までで、延200人が参加した。

また清掃籠を作り浄土平、檜原湖畔、猪苗代湖畔および福島駅前飯坂温泉駅前などに設置した。

なお、啓蒙資料として、ポスターを作り、各市町村県内要交通業者に配布し、P・Rを図った。

7 企業体推進事業

(1) 指導者研修事業

企業体における新生活運動の浸透をはかるため、地域内事業所の経営者労務担当者および企業体関係団体の役員など指導的立場における人人を対象とし、新生活運動協会企業体専門対策委員尾形匡氏および新生活運動協会事務局次長岩田岩二氏を講師として下記研修会を開催した。

(月日)	(場 所)	(参加人員)
38.2.7～8	福島市公民館	50人
38.2.11～12	郡山市県農業試験場	60人
38.2.13～14	常磐市湯本公民館	50人

(2) 働く青少年の集い

働く青少年とくに中小商店従業者に対し、立派な社会人、商業人としての育成をめざして仲間同志の集いを開催した。この集いは、仲間の親睦を深めるとともに、その教養を向上させ、商業人としての自信をつけさせて将来に明るい希望を与えたことは効果的であった。

(月日)	(場 所)	(参加人員)
38.1.21	福島市公民館	40人
38.2.18	福島市青少年の家	45人
38.3.25	飯坂町温泉センター	55人